



見附市立名木野小学校
学校便り 6月号

令和8年6月4日
TEL 0258-62-0091

(URL) <https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/nagino/>

「学習すること」の楽しさ

校長 矢嶋 義宏

1年生の生活科の学習で育てているあさがおの芽が出始めました。毎朝、こどもたちが中庭に出て、あさがおに水やりをしています。初めての観察カードには、習ったばかりの文字で次のように書かれていました。

あのね、はっぱがでたよ。
たねのぼうしがあったよ。
くきは、むらさきいろだよ。

土の中で種の皮をつき破って芽を出し、力強く誕生したあさがおの生命を、1年生なりに捉えています。

水やりをしているこどもに「あさがおさんは、なんて言っているかな？」と聞くと、次のようにこたえてくれました。

「のどが乾いていたからうれしいよ」
「もっとたくさん水を飲んで、大きくなるね」

この言葉から、あさがおに愛情をもちながら学習を深めていることを感じ、とてもうれしくなりました。



こどもたちが学習に取り組んで「わかった」「できた」と思えた時（例「計算の仕方がわかった」「漢字が書けた」など）、「**学習すること**」の楽しさを実感します。それは学んだ結果に対して達成感や自分自身の成長を感じることができるからです。これはとても重要なことです。しかし私は、その上で、さらに大切にしたいことがあります。それは、「わかった」「できた」ということにかかわらず、**学ぶという行為そのものに対する楽しさを味わう**ということです。

1年生のあさがおの学習では、こどもたちは「あさがおの成長を発見していく楽しさ」「あさがおの成長に自分がかかわれることの楽しさ」を感じています。この楽しさは、計算や漢字のように「学んだことが実生活に役立つ」というよりも、「**学んだことが自分の生活を豊かに、潤いのあるものにする**」ということに繋がると考えます。

また、こどもたちが、この楽しさを実感することができれば、学習に対して「やるべきもの」「やらなければならないもの」ではなく、「自らやりたいもの」と捉えるはずです。

学習はなんのためにあるのか？

「その子一人ひとりの人生を幸せにするためにある」のだということを、私たちは大切にしたいと思っています。

6年生が修学旅行に出かけます

スローガン「最高の旅へ さぁ行こう！ 会津で学び、楽しもう」

6月4日（木）	
7：40	名木野小学校発
10：00	民芸の館松良（赤べこ体験）
10：50	飯盛山・白虎隊記念館見学
11：45	民芸の館松良（昼食）
12：45	七日町地区（班別自由行動）
14：30	鶴ヶ城見学・鶴ヶ城会館（買い物）
17：25	エンリゾートグランデコホテル着
6月5日（金）	
8：30	エンリゾートグランデコホテル発
8：50	檜原湖モーターボート体験
9：30	磐梯噴火記念館3Dワールド見学
11：00	野口英世記念館見学
12：10	会津藩校日新館（昼食・見学・座禅体験）
17：15	名木野小学校着

運動会をがんばりました

スローガン「仲間とともに、力を合わせて 一生けんめい がんばろう」

